



「探求」こそ学びの原動力

夏休みも終わりに近づいてきました。今夏実施した夏期特別プログラムをお伝えします。

■小学生 Arts 夏期特別プログラム「LAB07 NIE サミット」

「教育に新聞を (Newspaper In Education)」という名で学校でも取り入れられている新聞教育。2日間のうちの1日目は、最初に小学生でも十分に読める新聞の読み方を練習。次に同じ日の全国紙・地方紙4紙を比較し、紙面の違いだけではなく、同じ出来事でも新聞社によって書き方や解釈が異なることを学びました。2日目は1日目の新聞の中から気になる記事をピックアップ。新聞記者になったつもりで自分なりに要約し、紙面割りや見出しを考えながら模造紙でオリジナルの新聞をまとめ、報告しました。ふだんから新聞を読む小学生は、読まない小学生よりも国語力が鍛えられ、学力テストの成績が良いというデータもあります。これを機会に、ぜひ習慣化してみてください。



■小学生 Science 夏期特別プログラム「気象タイムトラベル」

ふだん何気なく見たり聞いたりしている天気予報について学ぶ集中講座。100回中87回ほど当たるとされている天気予報のしくみから学び、天気記号や気圧・前線など天気図の読み方を、中学校以上で本格的に学ぶレベルまで先取り学習。また「夕焼けの次の日は晴れ」「朝焼けの日は雨」など、昔から伝わる天気の予測方法であった「観天望気」についても学びました。その上で、翌日の天気を根拠立てながら予想し、2日目に検証を行いレポートにしてまとめました。日常生活と密接にリンクする天気の移り変わりのメカニズムは、必ず今後役に立つ知恵となるでしょう。



■中高生コミュニケーション「新規事業プレゼンテーション」

コミュニケーション講座では、定期的に行っている「新規事業プレゼンテーション」を行いました。3人1組のチームが新規事業を企画し、投資する社長役である先生にプレゼンするというもの。新しいアイデアを生み出す「発想力」、そのアイデアを形にする「企画力」、その企画を相手にしっかりと伝え共感させる「プレゼンテーション力」、本番に予想外のことがあっても得意即妙に立て直すことのできる「瞬発力」など、これまで学んできた力を総合的に発揮する必要があるテーマです。結果は、どのチームも新規事業成立には至りませんでした。プレゼンを通して「自分たちは絶対にこの企画を通したい」という熱意を表現することと、だれのためにその事業を行うのかという「社会貢献」の心をもつ必要性を学びました。後期は今回の企画の経験を活かしつつ、さらなるステップアップを図ります。



■中高生小論文個別指導「文字ラボ」

夏から開講した中高生向け小論文個別指導「文字ラボ」。小論文というと大学受験指導などでややハードルがありそうなイメージですが、当講座は、「夏におすすめしたいもの」「今みんなに聞いてほしい曲」「インターネットのモラルについて」など、ごく身近なテーマばかり。思いつく言葉をブレインストーミングし、表現するのに必要な語句や類語を学ぶことで「語彙力」を増やし、さらにそれらの言葉をどう紡ぐかという「文章力」をトレーニングします。9月以降も引き続き開講しますので、ご希望の場合は、担当までご相談ください。

